

項目	名称	基準値(男性)※	基準値(女性)※	単位	検査の意味	高値(増加)疾患例	低値(減少)疾患例
WBC	白血球数	3.5-9.3	3.6-9.0	×1000/μL	感染症などの炎症性疾患、白血病などの血液疾患で異常値を示す他、薬剤の影響も反映します。	細菌感染症、外傷、炎症性疾患、心筋梗塞、白血病、骨髄増殖性疾患 (妊娠、ステロイドの服用、喫煙でも高く)	ウイルス感染症の初期、再生不良性貧血、薬剤の副作用
Neu	好中球数	40-75	40-75	%	〃	〃	〃
Hb	ヘモグロビン(色素)値	13.4-17.6	11.6-15.8	g/dL	赤血球中で酸素の運搬を担うタンパク質の量です。貧血や多血症を推測することができます。	多血症(赤血球増加症) 運動後などの脱水	貧血、膠原病、感染症、妊娠後期
Plt	血小板数	120-400	120-400	×1000/μL	止血のために働く血球の数です。出血傾向がある場合にその原因を探索するための検査の一つです。	鉄欠乏性貧血、骨髄機能亢進	白血病、再生不良性貧血、薬剤による骨髄抑制、特発性血小板減少性紫斑病、DICなど
AST	アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ、旧GOT	13-33	13-33	U/L	肝臓、心臓等の障害の指標です。	心筋梗塞、急性肝炎、筋肉疾患、慢性肝炎など	尿毒症、糖尿病性ケトアシドーシス、脚気
ALT	アラニンアミノトランスフェラーゼ、旧GPT	8-42	6-27	U/L	肝臓の障害の指標です。	急性肝炎、胆石症発作など	尿毒症、糖尿病性ケトアシドーシス、脚気
γ-GTP	γ-グルタミルトランスペプチダーゼ	10-47	10-47	U/L	肝臓の解毒作用の関係する酵素です。肝臓や胆管からの十二指腸の至る道筋(胆道系)の指標となります。	アルコール性肝炎、急性肝炎、慢性肝炎、肝硬変、胆道系疾患 ステロイドまたは抗てんかん薬を服用している場合	-
BUN	尿素窒素(血清)	8-22	8-22	mg/dL	尿素窒素は、蛋白質が分解されてできる老廃物で、尿と一緒に排泄されます。血液中の尿素窒素により腎機能の指標となります。	急性腎炎、慢性腎炎、ネフローゼ症候群、腎盂腎炎、腎結石、腎腫瘍、脱水症、高熱、うっ血性心不全、尿路結石	尿崩症、肝不全、低蛋白食
s-Cr	血清クレアチニン	0.6-1.1	0.4-0.7	mg/dL	腎機能・筋肉量の指標です。	急性糸球体腎炎、慢性糸球体腎炎、急性腎不全、慢性腎不全、脱水症、火傷、うっ血性心不全	筋ジストロフィー、尿崩症、妊娠初期
CRP	C反応性たんぱく	0-0.39	0-0.39	mg/dL	炎症や組織の障害の指標です。	高度(5+~6+) 細菌感染症、結核、慢性関節リウマチ、敗血症、悪性腫瘍 など 中等度(2+~4+) 多発性動脈炎、悪性リンパ腫、クローン病、心筋梗塞、外科手術 など 軽度(±~1+) ウイルス感染症、SLE、白血病、妊娠、貧血、気管支喘息、など	-
CK	クレアチンキナーゼ	62-287	45-163	U/L	筋肉に含まれる酵素です。心筋梗塞や筋肉の障害があると上昇します。	急性心筋梗塞、横紋筋融解症、筋ジストロフィー、多発性筋炎、甲状腺機能低下症、脳出血、脳梗塞、薬剤性など	甲状腺機能亢進症、妊娠など
PT-INR	プロトロンビン時間(国際標準比)	0.85-1.25	0.85-1.25	INR	血液の凝固能を示す検査値です。	《延長》肝疾患、DIC(播種性血管内凝固症候群)、ビタミンK欠乏症、ワルファリン投与時、血液凝固因子欠損症	-
HbA1c(NGSP)	ヘモグロビン・エイワンシー国際標準値(NGSP値)	4.6-6.2	4.6-6.2	%	血糖コントロールの指標です。	糖尿病	溶血性貧血

※基準値は成人基準値